

日本法学 第七十七卷 索引

論 說

空港環境問題における連邦航空法の専占……………	工藤 聡一 ……	号	頁
……………	……………	……………	……………
第三者のためにする契約と適用範囲の類型化をめぐる問題……………	長谷川 貞之 ……	……………	……………
……………	……………	……………	……………
日常行為と可罰的幫助……………	上野 幸彦 ……	……………	……………
……………	……………	……………	……………
Lugosi ケース、人格権一元論の終焉 ——Lugosi v. Universal Pictures 160 Cal. Rptr. 323 (1979)——	豊田 彰 ……	……………	……………
……………	……………	……………	……………
昭和初年の官吏減俸令と裁判官……………	新井 勉 ……	……………	……………
……………	……………	……………	……………
イギリスの議会主権と議会制定法の階層化について ——EU法の優位性とイギリスにおけるコモン・ローの発展——	加藤 紘捷 ……	……………	……………
……………	……………	……………	……………
国内旅客航空運送契約における「延着」責任について……………	松嶋 隆弘 ……	……………	……………
……………	……………	……………	……………

大正・昭和前期における司法省の裁判所支配……………新井 勉…三(一)

薄くなる政教分離の壁……………青山 武憲…三(四三)

——アメリカ合衆国——

振り込め詐欺を防ぐための地域づくり……………尾田 清貴…三(八三)

倒産手続におけるプライオリティの変遷と展望……………杉本 純子…三(一三五)

——商取引債権を含めたプライオリティ体系の構築をふまえて——

翻 訳

団体概念の事例に関する解釈の限界としての刑法および概念を形成する体系の中心的な構成原理としての明確性原則……………クラウス・ホフマン(オランダ) 上野 幸彦 訳…一(一一七)

国際裁判管轄の合意と新ハーグ管轄合意条約……………ペーター・フーバー(オランダ) ジェニファー・アントモ 小田 司 訳…三(一七九)

近代刑法の父としてのパウル・ヨハン・アンゼルス・フォイエエルバッハ……………クラウス・ホフマン・ホランド
 過去と今日の刑法上の諸原則……………マティアス・ジモニス……………四（一）
 滝沢 誠 訳

研究ノート

ベルリン州開店法の憲法適合性……………小林 宏 晨……………三（一九九）
 二〇〇九年十二月一日付連邦憲法裁判所判例を巡って（一）……………

クオータ制を巡る諸考察……………松島 雪 江……………三（二三三）
 ——ドイツでの議論をきっかけとして——……………

ベルリン州開店法の憲法適合性……………小林 宏 晨……………四（二五）
 二〇〇九年十二月一日付連邦憲法裁判所判例を巡って（二・完）……………

判例研究

通信社配信記事に対する名誉毀損の成否と真実相当性……………高畑 英一郎……………二（二〇九）
 ——「東京女子医大病院事件」最一判平二三・四・二八判時二二一五号五〇頁——……………

いわゆるデット・エクイティ・スワップ事件

適格現物出資に該当するデット・エクイティ・スワップにつき、混同消滅した債務の額……松嶋隆弘……四(六一)
とその帳簿価額との差額につき債務消滅益を認定した事例…東京地判平成二十一年四月……
二八日訟務月報五六卷六号一八四三頁